現代を自在に旅する
アンサンブル

Ensemble NOMAD

#20

「一つのため息で一巻の小説を（シェーンベルク）表現するウェーベルンの作品は未来の音楽への道を照らしただけでなく、遠く中世へまで、それぞれの音楽の持つ美の多彩な謎を私達に教えてくれるものでした。」

佐藤紀雄

❶佐藤紀雄（音楽監督）
❷木ノ脇道元
❸菊地秀夫
❹野口千代光
❺甲斐史子
❻菊地知也
❼宮本典子
❽稲垣聡
❾中川賢一

profile

1997年、ギタリスト佐藤紀雄によって結成された注目のアンサンブル。若手の才能ある演奏家が集まり、斬新なアイディアによるプログラムにより、20世紀そして現代作品を演奏。「NOMAD」（遊牧民、漂流の）の名称にふさわしく、幅広いレパートリーを自在に取上げる。メンバーは、核になる14人にゲストを交え、編成もフレキシブルにさまざまな曲に対応する。

1998年4月から2年にわたり開催された10回の定期演奏会は、内外から高い評価を得る。近藤譲個展、細川俊夫のオペラ〈リアの物語〉、1999年2月新国立劇場ダンステアトロンNO.2、平林和子作品〈ファウスト〉をオランダの作曲家M.v.デル・アーによる曲で世界初演。東京オペラシティで毎年開催される「コンポージアム」や、サントリーホールでのサマーフェスティバルでは、各国から持ち寄られる新進作曲家の最新作の演奏会に出演、世界の「現在」を鮮やかに伝える。2001年は、愛知芸術文化センター、札幌コンサートホールKITARA、大原美術館ギャラリーなど各地で演奏。

海外との交流も注目に値する。2000年にはオランダ、ベルギーに招かれ演奏。2001年2月東京で開催された「HOLLAND MUSIC DAYS IN TOKYO」（オランダ現代音楽センターガウデアムス主催）に出演し、オランダと日本の音楽を演奏。シェーンベルク没後50年の2001年には定期演奏会で氏の作品を特集。2002年7月には〈東京の夏〉音楽祭2002、11月、東京で開催の「ボリーニ・プロジェクト2002 in 東京」に出演。2002年度第1回定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する空想の往復書簡」は、特に高く評価され、「第2回佐治敬三賞」を受賞。CDは、近藤譲作品集「梶子」（ALCD-47）「空の眺め」（ALCD-57）、石田秀実作品集「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」（ALCD-60）が発売されている。

アンサンブル・ノマド 定期演奏会スケジュール

Ensemble NOMAD Concert Schedule in 2003 / 2004

#19	2003年 9月16日［火］	「東欧紀行」クルターク：弦楽四重奏曲、プロコフィエフ：五重奏曲、ヤナーチェク：コンチェルティーノ ほか
#20	2003年11月25日［火］	「ウェーベルンに捧ぐ」フェルドマン：ヴィオラ・イン・マイ・ライフ、オケゲム／バートウィスル：孤独な隠者のごとく、甲斐説宗：フルートとピアノのための音楽、シューマン：おとぎ話op.132 ほか
#21	2004年 1月21日［水］	「形を聴く、あるいは形のあるもの」ラッヘンマン：アレグロ・ソステヌート、ティエル・ドゥ・メイ：テーブルの音楽、クレメンティ：即興曲 ほか
#22	2004年 3月16日［火］	「ことばの向かうがわ」サーリアホ：ノア・ノア、ヴィラ＝ロボス：木管五重奏曲、武満 徹：ウェイブズ ほか

東京オペラシティリサイタルホール
電話：03-5353-0788
新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティ地下1F
京王新線初台駅東口下車3分

お問合せ先 東京コンサーツ 〒160-0005 新宿区愛住町23 ベルックス新宿ビルII-6F tel:03-3226-9755 / fax:03-3226-9882 / http://www.tokyo-concerts.co.jp

アンサンブル・ノマド定期会員募集中

会員特典

①チケット割引［チケット4回分：¥12,000→¥10,000］〈一括郵便振替でお願いします〉

②定期演奏会（シーズン／4回）終了後の懇親会への参加

お問合せ先 東京コンサーツ 〒160-0005 新宿区愛住町23 ベルックス新宿ビルII-6F tel:03-3226-9755 / fax:03-3226-9882 / http://www.tokyo-concerts.co.jp